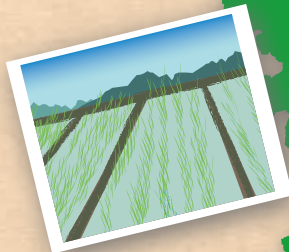


ちょうさ

ツバメを調査してわかること



ツバメが^す巣を作るためには、^す巣の^{ざいりょう}材料（^{どろ}泥や草）や、子育てのためのエサ（虫）を捕ることができる、^と畑や^{みずべ}水田、^{ひつよう}水辺が必要です。



ツバメの^す巣のある場所を調べることで、京都市内でツバメが子育てできる^{しぜん}自然^{かんきょう}環境がどのあたりに多いのかわかることができます。



ツバメの暮らし

巣作りをして、ヒナを育てるために虫をたくさん捕まえます

子育てのため、南の国から集団でやってきます

はる春

なつ夏

ふゆ冬

あき秋

フィリピンやオーストラリアへ

ヒナが大きくなった秋には、南の国に帰る準備をします

春、ツバメはフィリピンなどの南の国から日本へやってきます。その後、夏にかけて田んぼや畑で泥やわらを集めて、人の暮らす家の屋根の下などに巣をつくります。日本で2回ほど子育てをしたあと、秋には大きくなった子どもたちと一緒に、南の国へ帰ります。南の国へ帰る前には、ツバメたちはヨシ原に集まって虫をたくさん食べ、長い渡りの前に体力を蓄えます。冬の間は南の国で過ごし、次の春に旅をする準備をします。

わたしたちの暮らしとツバメ

ぼくらの^す巣を
壊さないで！



人がいるから、
安心して子どもを
育てられるんだ！

昔から日本では、畑の害虫^{がいちゆう}を食べてくれるツバメは益鳥^{えきちよう}として親しまれており、ツバメが巣を作った家には幸せ^{おとず}が訪^{かんげい}れると歓迎されてきました。また、ツバメは民家^{みんか}に巣^すを作ることで敵^{てき}であるカラスなどから卵^{たまご}やヒナを守っており、古くからツバメと人は共に暮らし^{ともく}てきました。

しかし、近年は巣^すを作りやすい民家^{みんか}や、巣^すの材料^{りよう}をとる田んぼが少なくなったり、糞^{ふん}などを嫌^{いや}がって巣^すを落とされたりするために、ツバメは子育て^すがしづらくなっているといわれています。



ツバメの^{しゅうだんひらいち}集団飛来地

京都市には、宇治川^{うしがわ}の観月橋^{かんげつきょう}の下流左岸^{かりゆうさがん}に近畿^{きんき}地方最大のヨシ原があり、ツバメの^{しゅうだんひらいち}集団飛来地として知られています。

★「京都生きもの100選^{せん}」に選定^{せんてい}



ツバメのなかま

京都市ではツバメのほかにも、その仲間のコシアカツバメ、イワツバメを見ることができます。どちらもツバメと同じ、春になるとフィリピンなどの南の国から日本へやってきます。



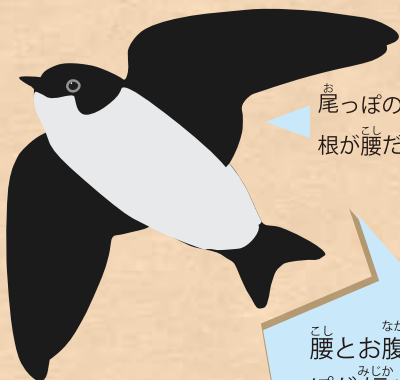
ツバメ

民家などの建物に巣を作り、「ツバメが家に巣を作ると縁起がいい」とされている。お椀型の巣だよ。



渡り鳥の代表として知られている。昔から日本で大切にされてきた鳥だよ。

イワツバメ



尾っぽの付け根が腰だよ。

腰とお腹が白く、尾っぽが短い。ツバメより小さいよ。



橋やビルなどの壁に、集団で巣を作る。お椀型の巣だけど、ツバメの巣より入口がせまいよ。

コシアカツバメ



こし^{あか}腰が赤く、
すこ
ツバメより少し
おお
大きいよ。

お
尾っぽの付け根が腰だよ。



コンクリートのよ
うな人工^{こうぞう}構造物に巣^すを作
る。入口が細いとつくり
かた^す
型の巣だよ。

ヒメアマツバメ



なか
お腹が黒くて
こし
腰が白いよ。

京都府

レッドデータブック

ぜつめつきぐしゅ
絶滅危惧種

ツバメとよく似た種類^{に しゆるい}のアマツバメの一種^{いっしゅ}のヒメアマツバメは、京都市内でも見られません。コシアカツバメの古い巣^すを使って、子育てをすることが知られています。京都市内で見られるヒメアマツバメの数は少ないので、見つけれたらラッキー！